

平成29年4月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,632,648	188,421	188,421	7.2%	2,444,227		
1. 営業収益	2,271,430	183,972	183,972	8.1%	2,087,458		
1. 給水収益	2,243,160	183,479	183,479	8.2%	2,059,681		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	493	493	1.7%	27,777		
2. 営業外収益	360,854	4,449	4,449	1.2%	356,405		
3. 特別利益	364				364		
9. 水道事業費用	2,543,341	27,224	27,224	1.1%	2,516,117	506,777	19.9%
1. 営業費用	2,291,121	27,168	27,168	1.2%	2,263,953	506,721	22.1%
1. 原水及び浄水費	483,842	11,817	11,817	2.4%	472,025	222,452	46.0%
2. 配水費	291,465	6,371	6,371	2.2%	285,094	80,783	27.7%
3. 給水費	113,124	1,470	1,470	1.3%	111,654	21,817	19.3%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,165	812	812	0.5%	161,353	145,325	89.6%
6. 総係費	163,592	6,699	6,699	4.1%	156,893	36,344	22.2%
8. 減価償却費	1,026,833				1,026,833		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	230,415				230,415		
3. 特別損失	1,805	56	56	3.1%	1,749	56	3.1%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,820,621	324	324	0.0%	1,820,297		
1. 企業債	1,069,400				1,069,400		
2. 負担金・補償金	297,951				297,951		
3. 補助金	133,293				133,293		
4. 出資金	309,555				309,555		
5. 加入金	10,422	324	324	3.1%	10,098		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	3,050,300	2,797	2,797	0.1%	3,047,503	759,650	24.9%
1. 建設改良費	2,368,052	2,797	2,797	0.1%	2,365,255	759,650	32.1%
1. 取水施設整備費	827,307				827,307	501,660	60.6%
2. 導水施設整備費	17,820				17,820		
3. 浄水施設整備費	190,018				190,018		
4. 送水施設整備費	122,713				122,713	78,840	64.2%
5. 配給水施設整備費	1,205,334	2,797	2,797	0.2%	1,202,537	179,150	14.9%
6. 消防設備整備費	4,860				4,860		
2. 企業償還金	682,248				682,248		
12. たな卸し資産購入限度額	47,324				47,324		
①有収水量	7,914,100	633,959	633,959	8.0%	7,280,141		
②供給単価	283.44	289.42	289.42	102.1%	△ 5.98		
③給水原価	321.14	42.85	42.85	13.3%	278.29		
人件費	236,921	13,754	13,754	5.8%	223,167		
1. 収益的収支	196,637	11,068	11,068	5.6%	185,569		
1. 職員給与費	195,857	11,068	11,068	5.7%	184,789		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	780				780		
2. 資本的収支	40,284	2,686	2,686	6.7%	37,598		
* 職員給与費	236,141	13,754	13,754	5.8%	222,387		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	6.0%	6.0%				
2. 全職員	10.5%	7.5%	7.5%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	44,943,525	44,946,319	2,794	
*減価償却累計額	18,794,440	18,794,440		
B. 流動資産	3,292,328	3,247,924	△ 44,404	
1. 現金預金	2,594,861	2,874,421	279,560	
2. 未収金	576,010	252,402	△ 323,608	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,572	32,077	△ 1,495	
5. 前払費用・前払金	87,886	88,155	269	工事前払金等
6. その他		870	870	仮払消費税
D. 水道事業費用		26,358	26,358	
1. 営業費用		26,305	26,305	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		52	52	
1. 借方合計=A+B+D	51,805,091	51,789,838	△ 15,253	
E. 固定負債	11,805,204	11,805,204		
1. 企業債	11,537,770	11,537,770		
2. 引当金	267,434	267,434		
F. 流動負債	1,064,366	874,286	△ 190,080	
1. 企業債	682,244	682,244		H28年度償還元金
2. 未払金	219,482	15,286	△ 204,196	
3. 前受金	148,062	148,056	△ 6	
4. 引当金	14,186	14,186		*賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	14,514	14,122	
うち仮受消費税		13,918	13,918	
G. 繰延収益	9,746,416	9,746,716	300	
1. 長期前受金	9,746,416	9,746,716	300	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,569,237		
H. 資本金	10,178,427	10,178,427		
1. 自己資本金	10,178,427	10,178,427		*固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	215,737	215,737		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		*非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837	192,837		
K. 水道事業収益		174,527	174,527	
1. 営業収益		170,381	170,381	
2. 営業外収益		4,146	4,146	
3. 特別利益				
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	51,805,091	51,789,838	△ 15,253	
a. 供給単価 (円、銭)	267.98	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	41.49	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	206.76	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	76.09%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	81.47%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	371.44%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	328.77%	=現金預金÷流動負債		

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成29年 4 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計 画 累 計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,688	30,688	30,900	30,715	△212	△27
2 調定量	m ³	629,709	629,709	637,000	643,218	△7,291	△13,509
3 調定料金(税抜)	円	169,887,964	169,887,964	170,000,000	172,797,234	△112,036	△2,909,270
4 口振加入件数	件	25,258	25,258	-	25,404	-	△146

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,677	-	81,722	△ 45
6 給水件数	件	30,539	-	30,635	△ 96
7 開栓処理件数	件	602	602	655	△ 53
8 閉栓処理件数	件	309	309	349	△ 40
9 給水工事設計審査	件	49	49	79	△ 30
10 給水工事竣工検査	件	100	100	103	△ 3
11 経年メーター交換	件	30	30	42	△ 12
12 メーター口径変更	件	5	5	4	1
13 月末停止件数	件	0	0	1	△ 1

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	181,939,326 円	0.84 %	185,905,448 円	0.38 %
15 過年度分	17,458,486 円	87.80 %	16,910,581 円	91.27 %
16 全 体 (計)	199,397,812 円	-	202,816,029 円	-

4 給水装置工事指定業者(増減無し)

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	119	224

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	11/11	11/11	1/1	1/1	0/0	0/0	2/2	2/2	8/8	8/8	0/0	0/0
契約締結	一般	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	指名	9	9	0	0	0	0	1	1	8	8	0
	随契	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
合計	10	10	1	1	0	0	2	2	8	8	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	0	0	
中間検査	0	0	
合 計	0	0	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	5日	4月 事業打合せ等
事業調整会議	5日	第1回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
水道事業連絡会議	12日	第1回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	11日	第1回 行事計画、日程調整等
水道マスター会議	18日	4月期 平成29年度会議予定について
給水拠点設置訓練	28日	第1回 追総合支所
経営分析会議	24日	3月期 各種経営分析等
例月出納検査	26日	3月分 例月出納現金検査
指名委員会	6・20日	第1回・第2回
入札会	6・14日	1件・10件
緊急メールの発出	-日	漏水情報5、配信訓練1、水質情報5

特 記 事 項

1. 4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は183,479千円(税込)で、前月期に比べて9,788千円の増で、対前年同月比では3,142千円の減となっています。営業収益は手数料収益493千円を含む183,972千円、営業外収益は受取利息320千円、事務手数料4,092千円を含む4,449千円となりました。

当期の営業費用は27,168千円、特別損失は56千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金324千円のみで執行となっています。

支出は、事務費として2,797千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期の執行はありません。

2. 今月の出来事

(1) 水道事業所の職員採用

4月3日(月)に水道事業所の新規採用職員(社会人経験者)3名に管理者(市長)から採用発令が手渡されました。

今後も水道事業における経営力と技術力を確保するため、定数30名を維持する採用計画、育成計画を策定していくとともに、水道における専門知識の習得を基本に、公務員としての広い視野も身につけさせることとしています。

なお、今年度の職員数は昨年度から1名増の29名(再任用職員3名を含む)となりました。

(2) 貯蔵品実地たな卸実査を実施

4月25日(火)に平成28年度貯蔵品実地たな卸実査が実施されました。監査委員3名と事務局2名が来庁し、保呂浄水場の貯蔵庫及び登米市管工事業協同組合の資材庫等に保管してある貯蔵品について、保管状況の確認や数量と関係書類との突合等が行われ、概ね良好との評価をいただきました。

今後も適切な貯蔵品管理に努めます。

(3) 水道モニター会議を開催

4月26日(水)に水道モニター会議を開催しました。

今回は、昨年度行った水道に関するアンケート調査の集計結果について報告を行いました。その後、意見交換を行いモニターの方々から今後のアンケート調査の方向性等、活発なご意見をいただきました。



水道モニター会議

(4) 災害訓練を実施

4月28日(金)に4月期の水道事業所災害訓練を実施しました。

4月の人事異動に伴い体制に変更があったため、水道業務受託者も含め災害時の配備体制や時間外連絡体制についての確認を行いました。

水道事業所では、災害時における迅速な対応強化を図るため、今後も定期的に災害訓練を実施します。



災害訓練

(5) 職員会議を開催

4月5日(水)に第1回職員会議を開催しました。水道事業は、地方公営企業法第39条第1項の規定により地方公務員法の適用が一部除外されており、時間外勤務については労働基準法第36条の規定により管理者と職員との間で協定を締結する必要があります。双方で協定内容について協議した結果、協定案は承認され、協定書並びに関係書類を瀬峰労働基準監督署に提出しました。

(6) 資金管理運用委員会を開催

4月12日(水)に資金管理運用委員会を開催しました。4月14日に満期を迎えた2億円(仙台銀行)と4月18日に満期を迎えた5億円(みやぎ登米農協)について、それぞれ継続し、1年間の定期預金として預け入れを行うこととなりました。

平成29年 4月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	822,291	822,291	801,410	818,280	20,881	4,011
総配水量	778,181	778,181	751,770	781,276	26,411	-3,095
1 有効水量	682,580	682,580	690,150	694,761	-7,570	-12,181
(1)有収水量	633,959	633,959	641,200	647,471	-7,241	-13,512
(2)無収水量	48,621	48,621	48,950	47,290	-329	1,331
2 無効水量	95,601	95,601	61,620	86,515	33,981	9,086
(1)漏水量	95,548	95,548	61,000	86,410	34,548	9,138
(2)その他無効水量	38	38	20	43	19	-4
3 有収率	81.47	81.47	85.29	82.87	-3.82	-1.4

※当月期の最大配水量は、25日(火)に記録した【27, 600m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	732,256	3	406,609	0	0	325,647	55.5%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	0	0	0	0	17,820	0.0%
ウ 浄水施設整備事業	14	190,018	0	0	0	0	190,018	0.0%
エ 送水管整備事業	1	98,010	1	56,430	0	0	41,580	57.6%
オ 配給水施設整備事業	54	1,007,975	0	0	0	2,797	1,005,178	0.3%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1 遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 9)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.57	0.43	0.40	0.57	0.45
最低	0.53	0.30	0.20	0.50	0.35
最高	0.60	0.63	0.66	0.60	0.50

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度 (Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度 (Bq/Kg)	
		セシウム 134	セシウム 137			セシウム 134	セシウム 137
保呂羽浄水場	H29.4.20	<0.8	<1.0	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H29.4.20	<0.7	<0.8	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H29.4.21	<0.7	<0.9	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H29.4.21	<0.8	<0.9	—	—	—	—

特 記 事 項

1 大萱沢浄水場3号ろ過池の洗浄作業を実施

4月5日に大萱沢浄水場において安定した水道水質の保全のため、3号ろ過池の砂の掻き取り作業及び目詰まり防止シートの洗浄作業を行いました。

大萱沢浄水場は湧水を水源とし、普通沈殿緩速ろ過方式により浄水しており、大変重要な作業となります。

今後も安全安心な水道水を維持するため、定期的に毎年1回以上のろ過池の洗浄を行って参ります。



砂の掻き取り作業



目詰まり防止シート洗浄作業

2 錦織水系において浄水場緊急時対応訓練を実施

4月6日に錦織水系浄水場において緊急時対応訓練を実施しました。

浄水施設等維持管理業務を受託している明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体を実施したもので、直接携わる職員の教育訓練の一環とし、図上訓練の後、現場にて実施し、訓練後には互いに注意点を話し合う反省会を実施しました。

停電により浄水場の機能が停止した際を想定した訓練で、非常用発電機により電源を確保し浄水場を稼働させ機能を回復、機能低下のため緊急連絡管から配水する一連の作業を行い、水道機能の保全と作業の手順の再確認を行いました。

今後も定期的に訓練を重ねて参ります。



訓練中；緊急連絡管操作



訓練中；非常用発電機始動

3 平成29年4月の漏水調査結果について

4月末の漏水調査の結果7件5.20 m³/h (累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

4 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	5	3.90
	付属施設	0	0.00
	給水管	2	1.30
	計	7	5.20